

回遊性のある仕掛けで 神戸の夜を盛り上げる

ナイトタイムエコノミーフォーラム in 神戸

地域の賑わい、魅力を創出する取り組みの一つとして、夜間の多様な活動を通じて、地域の資源や文化を発信し、消費拡大などにつなげるナイトタイムエコノミーに注目が集まっている。神戸出身のメディアアーティストの藤本実氏が自身の活動と光のイベント「ビビッドシドニー」について紹介した事例をふまえ、神戸のナイトタイムエコノミーの可能性について関係者が議論をした。



MPLUSPLUS株式会社 代表 藤本 実氏

基調講演「メディアアートで創る街イベント」

オーストラリア・シドニーで毎年開かれる世界最大級の光の祭典「ビビッドシドニー」は神戸との親和性が高いイベントだ。世界中から光のアーティストが集まり、神戸駅から三宮駅までの間くらいのエリアに多くの作品が展開される。海沿いにはレストランやバーが並び、夜中でも家族連れで賑わっている。神戸でも世界中の人が来日したくなるような光のイベントをプロデュースしたい。ウォーターフロント、湊川隧道、ペルトコンベヤ跡や廃ホテルなどを活かした魅力的な演出ができる。



神戸市長
久元 喜浩氏



神戸電子専門学校 校長
078KOBEエバンジェリスト
福岡 壯治氏



The Nineteenth Bar オーナー
ウイスキーバー 神戸実行委員会 代表
宮森 和哉氏



ライブハウス神戸VARIT.
店長
南出 渉氏



U代表、神戸・三宮センター街
1丁目商店街振興組合 企画担当
高橋 裕子氏



コーディネーター
株式会社AKIND 代表
岩野 翼氏

01 ナイトタイムエコノミー 活性化のための取り組み

岩野 ナイトタイムエコノミーでの取り組みを紹介してほしい。
宮森 神戸でバーを営んでいる。神戸の街を楽しんでもらうきっかけづくりとして、ウイスキーのイベント「ウイスキーバー神戸」の立ち上げにも携わった。今年は第2回目を4月21日に開催する。
南出 三宮で350人収容できるライブハウスを経営している。多彩なジャンルイベントを企画しており、オールナイトイベントも毎月1回開催している。
高橋 神戸の街全体の盛り上がりや活性化に繋がることを目指して、神戸の街で三宮コレクションやヨルバルなどを

岩野 ナイトタイムエコノミーのイベント、食やクラブカルチャーに関するイベントを企画制作している。
福岡 神戸に住みたいと思える街にしたいと考え、街を面白くするさまざまな仕掛けをしてきた。直近では旧住友倉庫の空間を活かした光と音のイベントを開催した。今日を起点に何かが始まってくれれば良い。
久元 都心・三宮の再整備に取り組んでいるが、再整備の目的の一つはナイトタイムエコノミーの活性化。昼も夜も歩いて楽しめる街にするためには回遊性が大事だ。夜の課題は店が早く終わってしまう。店が早く終わってしまうからお客さんが少ない。この悪循環を転換させる知恵が必要だ。

02 神戸の回遊性とは

久元 神戸の夜をもっと楽しんでいただくには2軒目に行くことも大切。
南出 ライブのメンバーは打ち上げに行くし、来店客は居酒屋やバーに行ってライブの感想を述べあうのも楽しみにしている。そのためにもお店の方には閉店時間をもう少し延ばしませんかと伝えたい。
高橋 神戸の夜をつくっているのは個人のバーや飲食店。店主から神戸の楽しみ方を教わることもできる。そういう夜のシーンでの出会いが大事で、それを求めて回遊が生まれる。ただ、夜の10時とか12時以降までを繋ぐフックになるイベントがすごく少ないかなと思う。
久元 フックとしてのイベントと言うのはすごく大事。メリケンパークや三宮プラッツなど、街をぶらぶらしているところに行ったら何かやっているというシーンが街の賑わいには必要。

岩野 神戸らしいナイトタイムエコノミーでは、ライフスタイルが重要な視点と考えるが、どう思うか。
久元 神戸は、山があって、海があり、それぞれに神戸らしい特徴が感じられる場所があり、市民のライフスタイルを観光客が体感していただけるようなことが大事だと思う。
藤本 ビビッドシドニーは全員が夜遅くまで街中でお酒を飲んだり、街歩きしたりして楽しんでるので、来られた方、住民、お店など街全体の活気が溢れている。
福岡 ナイトタイムエコノミーに関しては、市民のナイト

03 ライフスタイルを活かした ナイトタイムエコノミー

岩野 神戸らしいナイトタイムエコノミーでは、ライフスタイルが重要な視点と考えるが、どう思うか。
久元 神戸は、山があって、海があり、それぞれに神戸らしい特徴が感じられる場所があり、市民のライフスタイルを観光客が体感していただけるようなことが大事だと思う。
藤本 ビビッドシドニーは全員が夜遅くまで街中でお酒を飲んだり、街歩きしたりして楽しんでるので、来られた方、住民、お店など街全体の活気が溢れている。
福岡 ナイトタイムエコノミーに関しては、市民のナイト

カルチャーがベースにある。市民が都市生活文化に参加したくなるような街にならないといけない。都市生活が面白かったら人がどんどん集まってくる。夜時間という資源は無料なので、いろんな夜のイベントの実験の場として神戸を開放してもらえたら。
久元 夜が早すぎる点は、三宮プラッツにしても、メリケンパークにしても人がいなくても何かやっていることが大事で、夜に遊びに行ける場所を増やすなど、神戸の夜を少しでも長く楽しんでもらうきっかけをみんなが知恵を出して考えていけたら良いかなと思います。